

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和2年第2回江田島市議会を開会するに当たりまして、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝いたします。

さて、令和2年度、新年度も1か月を経過しようとしております。

4月1日には、新たに私たちの仲間に迎えました10人の新規採用職員。辞令交付式で見せてくれました「よし、やるぞ！」との気持ちに、私自身も新たなエネルギーをもらい、初心に立ち返り、公務に邁進しているところでございます。

しかしながら、今、私たちは、かつて経験したことのない春を迎えております。

昨年末に、中国で発生した新型コロナウイルスが、世界中で感染拡大しております。わが国におきましても、4月7日には、安倍首相から、東京都をはじめ7都府県に「緊急事態宣言」が発令され、4月16日には、この対象地域が全都道府県に拡大されました。未だ、感染拡大は収まらず、各地で猛威をふるい続けております。広島県では、これに先立ち、感染期に入りました4月13日には、湯崎知事の「広島県感染拡大警戒宣言」により、県民の皆様に対して、外出自粛の要請など、5つのお願いが行われたところであり、国難という言葉に違和感がない、そんな事態となっております。

本市におきましては、1月に「江田島市新型コロナウイルス対策警戒本部」を立ち上げまして、県内で1人目の感染者が確認されました、3月7日に、「江田島市新型コロナウイルス対策本部」といたしまして、国の基本的対処方針に基づき、小中学校の臨時休校や、イベント等の中止など、感染拡大の防止に努めてきたところでございます。

このような中、皆様、御承知の通り、江田島市においても4月6日には、市民の方、1人目の感染者が確認をされました。幸い、感染者の方への積極的疫学調査の結果、接触者の方は、全て「陰性」との結果を得ており、勤務先であります医療機関も保健所の指導の下、診療を再開されております。

まずは、感染された方の、回復をお祈りするとともに、保健師による訪問活動などを継続し、しっかりとサポートをしてまいります。

また、新型インフルエンザ感染症者の方に関する情報の提供につきましては、感染者の方などの暮らしを守るための個人情報の保護と、市民の皆様の安心・安全な生活を守るための情報提供の在り方に対して、プライバシー保護か、あるいは、公益か、という大きな課題を頂いております。私自身、一人目の感染者の確認が発表された時の市民の皆様からのあまりの反響の大きさやネットを通じての情報に驚いたところでございます。このことにつきましても広島県としっかり連携を図りながら、適切な情報提供について努めてまいりたい。このように考えております。

私たちは、今、かつて経験したことのない「災害」のさ中にあります。

初めて経験する事態に市民の皆様の不安がいかに大きいか、このことを肝に銘じて全職員が一丸となって、引き続き対応に努めてまいります。

現在、市民の皆様には、感染拡大防止の観点から、他者との接触機会を可能な限り少なくしていただくようお願いをしております。平日・休日を問わず、外出の自粛を強く要請しております。このため、市においても、江田島まるとくフェアや江田島シー・ツアー・サミット2020を中止するなど、今後、新年度の各種事業の見直しを迫られているところでございます。

中でも「健康寿命の延伸」のための大切な取組であります「いきいき百歳体操」。これは、市民の皆様が、御自身の健康を、御自身で守るために、御近所のお仲間に声をかけて市内68箇所に広げていただいた、本市にとっては、本当に大切な大切な取組でございます。この活動も現在休止頂いております。さらに、「子育てしやすい環境づくり」につきましても、その拠点であります「にこにこハウス」の広場や、母子保健事業もお休みをしております。

多くの施策が、新型コロナウイルスに大きく影響を受ける中にありまして、本市の交流人口拡大の取組の新しい拠点施設となります。新ホテルが、令和3年7月の完成を目指しまして、来月中旬には、地鎮祭を行い、いよいよ着工の運びとなります。

さらには、工期を延長して、皆様に御心配をおかけしておりました「認定こども園のうみ」及び「鹿川交流プラザ」も新しい施設での運営が、6月からスタートする運びとなりました。緑豊かな野登呂山の麓に抱かれた新しい園舎に、本市の宝であります子どもたちの元気な声が響き渡る、そんな光景も本当に待ち遠しく思っております。そして、新型コロナウイルスの終息の時には、能美町鹿川地区の新たなまちづくりの拠点施設となります「鹿川交流プラザ」に、ここに集う皆様の元気な笑い声が一日も早く戻ることを願ってやみません。

私は、様々な交流が妨げられている今こそ、私たちの、そして、市民の皆様の底力が試されているのだと感じております。家族の絆、ご近所の絆、地域の絆が、私たち一人一人の日々の暮らしを支えてくれていると感じております。正しい情報を、的確に発信すること、お一人おひとりの暮らしに思いを寄せること、寄り添うこと、このことを、職員、議員の皆様、市民の皆様と共有し、「オール江田島市」で、私たちのまちの暮らしを守っていききたい。その先頭に立って力を尽くしてまいりたい、このように考えております。

議員各位の一層の御支援と御協力を是非お願いいたします。

さて、今議会では、平成30年7月豪雨災害で被災いたしました「市道宮ノ原～幸ノ浦線道路災害復旧工事請負契約の変更」及び、新型コロナウイルス感染症患者の方への傷病手当支給のため「江田島市国民健康保険条例の一部を改正する条例案」など、当面する市政の重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。

これら各案件につきましては後ほど御説明を申し上げます。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、2月開会の定例会以後の市政の主な事柄（ことがら）につきまして、主なものを報告させていただきます。

市政報告書 1 ページ，1 項目めでございます。

「中町保育園の閉園について」でございます。

3月19日，地域住民の皆様及び来賓の皆様の御出席のもと，中町保育園卒園式に続き，閉園式を行いました。

中町保育園は，昭和25年に中村保育所として開設され，昭和30年の能美町への合併と同時に中町保育園と改名し，地域の皆様とともに歩み続けました。その間2,183人の園児が卒園し，この度，70年の歴史に幕を閉じました。

地域の皆様には，保育園の行事や子どもたちの見守りを通じて多大な御支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

他の項目につきましては，報告書のとおりでございます。

どうぞよろしくお願いたします。

以上で，報告を終わらせていただきます。